

第 4 章

試 験 検 査

保健所における試験検査の業務は、市民の公衆衛生の向上などを目的とした各種保健衛生業務について、高度な技術を用いて、科学的な裏づけを与えるための試験検査を実施することです。

主な試験検査内容は、①微生物検査業務、②食品衛生検査業務、③環境衛生検査業務、④環境対策検査業務に分けられます。

①微生物検査業務については、感染症や食中毒発生時の原因究明や感染拡大防止のため、患者ふん便による細菌検査（腸管出血性大腸菌、赤痢菌、食中毒菌など）やウイルス検査（ノロウイルスなど）を行っています。また、事業者等の自主管理を支援するため、依頼検査にも対応しています。

②食品衛生検査業務については、各種食品中の細菌や添加物、残留農薬の検査を行っています。また、東日本大震災の発生による福島第一原発事故を受け、平成24年度から放射性物質の検査を実施しています。

③環境衛生検査業務については、飲用地下水、公衆浴場、プール、海水浴場などの水質に関する検査を行っています。

④環境対策検査業務については、小樽市環境基本計画に基づく河川水や海水などの水質汚濁検査や酸性雨などの大気汚染検査を行っています。

本市は、観光都市として、多くの方々が小樽を訪れています。特に全道的に観光客が増えることで感染症の発生も危惧されております。健康危機に迅速に対応できるよう、第7次小樽市総合計画では、研修会等の参加・実施、検査機器の整備、関係機関との連携構築を掲げており、検査等の信頼性の確保及び強化を図っています。また、令和5年度は厚生労働省が主催する感染症法に基づく外部精度管理調査事業に参加し検査精度の維持に努めています。

今後とも、市民の健康の保護、食品の安全性を確保するべく検査体制の充実に向けて努力してまいります。

1 試験検査（年度別推移）

担 当 課－生活衛生課

- 【内容】 微生物検査：便の一般検査、食中毒及び感染症の検査
 食品衛生検査：食品の細菌及び添加物などの検査、食中毒などの検査、牛乳などの規格検査
 環境衛生検査：地下水などの飲料水検査、公衆浴場・海水浴場・プールなどの環境用水検査、砂場の虫卵・細菌検査
 環境対策検査：河川・海水の水質検査

【実績】 (単位：件)

区分		平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
微生物検査	培養検査	3,558	3,685	3,462	3,298	3,132
	遺伝子検査	833	5,442	10,028	2,813	654
	その他	30	9	8	7	1
	小計	4,421	9,136	13,498	6,118	3,787
食品衛生検査	一般食品検査	1,403	1,090	979	1,086	1,042
	食中毒関係検査		79	65		
	感染症検査					
	乳等規格検査	97	59	62	58	60
	その他	158	1			
	小計	1,658	1,229	1,106	1,144	1,102
環境衛生検査	飲料用水検査	826	813	695	605	834
	公衆浴場水検査	212	144	134	82	82
	海水浴場水検査	66	36	72	36	48
	プール水検査	142	130	142	104	126
	砂場環境検査	43	52	46	42	46
	その他		4			
	小計	1,289	1,179	1,089	869	1,136
環境対策検査	海水検査	208	204	204	183	217
	河川水検査	652	695	647	497	525
	排水検査	46	11	35	43	34
	酸性雨検査	60	36	32	66	66
	その他	52	53	43	23	24
	小計	1,148	1,130	1,090	812	866
合計		8,516	12,674	16,783	8,943	6,891

2 各検査の内訳 (単位：件)

微生物検査			
検査項目		行政	依頼
虫卵			
培養			880
腸管出血性大腸菌			2,244
感染症	培養検査	5	
	遺伝子検査	27	618
	その他		
食中毒	培養検査	3	
	遺伝子検査	9	
	その他	1	
その他			
小計		45	3,742
微生物検査合計			3,787

食品衛生検査			
検査項目		行政	依頼
理化学検査	一般食品検査	合成保存料	106
		合成甘味料	53
		酸化防止剤	5
		着色料	48
		発色剤	12
		残留農薬	327
		放射能	118
		小計	669
	一般食品検査(ア)		669
	乳等規格検査(イ)		26
	その他		
	小計		26
理化学検査計(ウ)			695
細菌検査	一般食品検査	生菌数	97
		大腸菌群	63
		大腸菌	66
		サルモネラ	6
		黄色ブドウ球菌	81
		腸炎ビブリオ	14
		腸管出血性大腸菌	
		培養その他	2
		その他	2
		小計	331
	一般食品検査計(エ)		373
	食中毒関係検査	生菌数	
		大腸菌群	
		大腸菌	
		病原大腸菌	
		サルモネラ	
		黄色ブドウ球菌	
		腸炎ビブリオ	
		腸管出血性大腸菌	
		培養その他	
		遺伝子検査	
		その他	
		小計	
	食中毒関係検査計		
	感染症関係検査		
	拭取り検査		
	乳等規格検査	生菌数	17
		大腸菌群	17
		乳酸菌数	
		培養その他	
		その他	
		小計	34
	乳等規格検査計(オ)		34
細菌検査計(カ)			407
一般食品検査合計 (ア)+(エ)			1,042
乳等規格検査合計 (イ)+(オ)			60
食品衛生検査合計 (ウ)+(カ)			1,102

環境衛生検査			
検査項目		行政	依頼
飲料用水	理化学検査	178	506
	細菌検査	33	117
	小計	211	623
	飲料用水検査計	834	
公衆浴場水	理化学検査	41	
	細菌検査	41	
	小計	82	
	公衆浴場水検査計	82	
海水浴場水	理化学検査	32	
	細菌検査	16	
	腸管出血性大腸菌		
	小計	48	
	海水浴場水検査計	48	
プール水	理化学検査	32	64
	細菌検査	8	22
	小計	40	86
	プール水検査計	126	
砂場環境	虫卵検査		23
	細菌検査		23
	小計		46
	砂場環境検査計	46	
その他理化学検査			
小計		381	755
環境衛生検査合計		1,136	

環境対策検査				
検査項目			行政	依頼
水質汚濁検査	海水	pH	48	6
		COD	48	7
		DO	48	6
		大腸菌数	48	6
		小計	192	25
		海水検査計	217	
	河川水	pH	69	4
		COD		4
		DO	69	4
		BOD	77	4
		SS	69	4
		全リン	69	
		全窒素	69	
		大腸菌数	73	4
		その他		6
		小計	495	30
	河川水検査計	525		
	排水	小計		34
		排水検査計	34	
	その他	理化学検査	24	
		細菌検査		
		小計	24	
		その他検査計	24	
	水質汚濁検査計		800	
大気汚染検査	大気	酸性雨	66	
		小計	66	
		大気計	66	
	大気汚染検査計		66	
小計		777	89	
環境対策検査合計		866		

各検査件数は令和5年4月～令和6年3月までの検査件数である。微生物検査は地域保健法に基づき、食品衛生検査は食品衛生法に基づき、環境衛生検査は水道法、公衆浴場法等に基づき、環境対策検査は環境基本法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法に基づき、それぞれ実施している。

また、業務管理（G L P）の一環として（一財）食品薬品安全センター秦野研究所及び民間機関の外部精度管理調査に参加した。